

歩いて巡ろう
てくてくたま

津久井道と
職人の街を歩く

津久井道は、江戸時代から炭や柿などを江戸城下に運ぶ街道だった。このコースでは、現在はない下駄、提灯、馬具などの職人の店が並んでいた津久井道・登戸宿の面影をたどる。

Check!

津久井道のデザインマンホール

(令和6年中設置予定)

登戸で親しまれてきた歴史資源を未来に継承し、地域への愛着を醸成する取り組みとして公募した津久井道沿道のマンホールデザインが多摩区民投票により決定しました。

カラー版1カ所、通常版7カ所を設置



カラー版



通常版

2 登戸の渡しと多摩水道橋

昭和28(1953)年に多摩水道橋が完成するまでは、渡し船が川崎と東京を結んでいた。下流から六郷・矢口丸子・二子・そして登戸・菅にあった。東京都に送水するためにできた水道との併用橋として造られた多摩水道橋の完成により「登戸の渡し」は長い歴史に幕を閉じた。

多摩水道橋



登戸渡しの碑



津久井道と職人の街を歩く 距離: 4km 時間: 約2時間



大道橋の付近は津久井方面と菅生方面に分かれる「追分」で、地の利を生かして明治20(1887)年頃から蕎麦の仲買人「そくざし」が店を構え始めたといわれる。

全国区の人気を誇る施設をご紹介します!!

多摩区の遊びどころ PICK UP

ピックアップ

都内からのアクセスが良く交通が便利なまち
家族や友達と一緒に、楽しい施設へ遊びに行こう!

小田急線登戸駅では
ドラえもん装飾が
出迎えてくれるよ!!



©Fujiko-Pro・2011 Fujiko-Museum

MAP も-3



展示室I
デニムドラえもん
ぬいぐるみ



SFの世界にどっぷり!

多摩区に長年住み、「ドラえもん」など数多くの名作を生み出した藤子・F・不二雄氏の「SF〜すこしふしぎ〜」な作品世界やメッセージを幅広い世代に伝えていく文化施設。作品をテーマごとにじっくり鑑賞できる展示室、同氏の愛用品を飾った「先生の部屋」、さまざまなキャラクターに出会える「はらっぱ」、仕掛けが満載の「みんなのひろば」、「まんがコーナー」など見どころたくさん。ミュージアムショップも必見。オリジナルグッズがずらりと並び、手ぶらでは帰れそうにない。カフェにはキャラクターをテーマにしたかわいメニューが揃い、新メニューや期間限定メニューも続々と登場。開放感がある店内でつくりごのひとときを。

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム

☎0570-055-245/長尾2-8-1/一般・大学生1,000円 中学生700円 4歳以上500円/日時指定の完全予約制のため、施設HPで二次元コードチケットを購入



©Fujiko-Pro

MAP な-4



クラブハウス

レストランホール

年4回 市民に開放

1952年に名匠・井上誠一氏の設計によって生まれた自然豊かな18ホール。多摩丘陵の豊かな自然を存分に生かした戦略性のあるコースで多くのゴルファーを魅了し続けている。クラブハウスのレストランは、ゴルフ利用者以外でもランチやカフェも利用※することができ、散策がてら楽しむのもよさそう。さらに、子どもや家族連れ遊び場として年4回一般開放する「川国であそぼう!市民開放日」では、「芝すべり」や「ふれあい動物園」など体験型のイベント企画が多数用意され、親子で楽しむことができる。

※レストランは、当日の利用状況や時間帯により利用できない場合もあり。

川崎国際生田緑地ゴルフ場

予約☎044-934-1555/代表☎044-934-0015/枳形7-1-10/元日休場、年間数日不定休あり/料金等についてはHPまたは問い合わせを

MAP は-2



プールWAI

HANA・BIYORI

家族でワイワイ!

東京都稲城市と多摩区にまたがる遊園地。全長1,560m、最高時速110kmのジェットコースター「バンデット」が一番人気。夏は流れるプールやスライダーに大勢の人が訪れる。冬はイルミネーションで幻想的な雰囲気にも包まれる。ものづくりが体感できる「グッジョバ!」では自動車、食品、ファッション、文具、健康をテーマにした各factoryでジェットコースターやボートライドなどを楽しむことができる。2021年11月にオープンした「SPACE factory」も注目だ。遊園地隣には新感覚フラワーパーク「HANA・BIYORI」も。300鉢超のフラワーシャンドリアが並び温室や花とデジタルのアートショーも見どころ。

よみうりランド

☎044-966-1111/東京都稲城市矢野口4015-1/ワンデーバス大人(18~64歳)5,800円 中学生4,600円 小学生4,000円 65歳以上4,000円 未就学児2,400円/開園時間は日によって異なる (HP参照) / HANA・BIYORIは別途入園料

MAP な-2



「川崎フロンターレ」が運営する 首都圏最大規模のスポーツタウン

プロサッカークラブ「川崎フロンターレ」が運営する、2023年3月にオープンした複合的なスポーツ拠点施設Anker フロントアウン生田。2つの人工芝グラウンドをメインに、体育館、スタジオ、ミーティングルーム、屋内外3面ずつのテニスコートを備え、各種テナントも入る。川崎市上下水道局が整備した生田多目的広場、生田ふれあい広場なども隣接する。サッカーをはじめ未来のスポーツ界を担う子どもたちの育成の拠点となることはもちろん、集いの場を市民に提供し、人々の健康促進や青少年育成、災害時の一時避難場所としての機能も併せ持つなど、多面的な価値を地域に提供することを目指している。

Anker フロントアウン生田

☎044-328-5771 (電話受付時間 10:00~20:00) / 川崎市多摩区生田1-1-1
電車利用 JR南武線「中野島駅」下車徒歩約15分 小田急小田原線「生田駅」下車徒歩15分/クルマ利用 一般乗用車:101台、バイク:20台、駐輪場:134台